

2019年

消費者大会は、年1回開催され、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

岩手県消費者大会

落語家立川談志の弟子、全国で「防犯落語」を広めている立川平林さん来盛!

参加
無料

11月5日(火) 10:30~15:00 アイーナ7階・8階

(盛岡市駅西通1-7-1 TEL 019-606-1717)

◆午前:全体会 10:30~12:30 会場/7階 小田島組☆ほ〜る

1. 消費者庁創設10年のとりくみ報告

2. 基調講演 『防犯落語』 落語家 ^{たて かわ ひら りん} 立川平林さん

「ダマされないと思っている人ほどダマされる!
~楽しく学ぼう詐欺対策!」



《立川平林さんのプロフィール》

■1973年愛知県生まれ。2005年3月、立川談志に入門。2007年7月、二つ目昇進。談志没後は、談慶門下へ。2018年10月、真打昇進。警視庁より、防犯落語を評価され感謝状を12度授与される。平成26年、安来節全国大会優勝。日本一安来節どじょうすくい踊り。正調安来節保存会会員節保持。NPO法人アニマルライツセンター 理事。

2011年の東日本大震災から8年半が経過しました。岩手県では未だに約1600人(6月末)が応急仮設(みなし仮設舎)住宅で暮らしています。なかには生活困窮から仮設住宅を出られない人もいます。一方で、生活再建が進むなか、災害公営住宅の入居者の31%が高齢者の一人暮らしです。

高齢者がターゲットとなる消費者トラブルも増えており、孤立させないためにも地域での見守り体制の充実が求められています。

昨年、全国の消費生活センターなどに寄せられた消費者相談が前年から10万件増加し、11年ぶりに100万件を超えました(消費者白書)。なかでも振り込み詐欺などの架空請求の相談が4分の1を占めています。また警察庁の集計によると全国の警察が確認した特殊詐欺は1万6493件、被害総額は356億8000万円で、認知件数が減少するなかオレオレ詐欺は増加の一途です。

全国各地で300回以上の「防犯落語」を講演している落語家の立川平林さんは「残念ながら、詐欺に対する知識など役に立たない。手口はどんどん巧妙化している。ではどうすればいいか?詐欺を疑似体験することで、細胞、脳みそに、抵抗力、免疫力を備えさせることが必要。落語は疑似体験ができる。」と話されます。落語で、想像し楽しみながら詐欺被害にあわないための対策を学びましょう。

◆午後:分科会 13:15~15:00 6つの分科会から興味があるところへご参加ください。

1 社会保障問題	老後2000万円不足問題~改めて年金制度について考える	4 食の問題	ゲノム編集食品ってなあに?
2 環境問題	家庭から考えるプラスチックゴミ	5 子どもの居場所づくり	岩手の子ども食堂の取り組みから地域の未来を考えよう
3 消費者問題	ギャンブルへの依存の傾向とその対策について	6 平和・憲法問題	憲法と私たち~平和な未来を子どもたちに渡そう!~

- お弁当を用意します(500円)。個人参加で必要な方は5日前までにお申し込みください。(団体からの参加は事前に取りまとめます。)
- 保育もあります(200円)。5日前までにお申し込みください。

主催 岩手県消費者大会実行委員会 後援 岩手県・盛岡市
岩手県滝沢市土沢220-3 岩手県消費者団体連絡協議会内

参加申し込みは TEL 019-684-2225
FAX 019-684-2227



今年の会場はアイーナです。会場は駐車場がありませんので、公共交通機関もしくは周辺有料駐車場をご利用ください。

分科会紹介 13:15~15:00 会場：アイーナ7階・8階

「くらしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに参加して考え合いましょう！

<p>第1分科会 『社会保障問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県学校生協 ・盛岡医療生協 ・I女性会議岩手県本部</p> <p>会場 7階 小田島組☆ほ～る</p>	<p>「老後2000万円不足問題～改めて年金制度について考える」</p> <p>先日、金融庁が「夫65歳以上・妻60歳以上の夫婦のみの世帯が30年生活するのに年金以外に2000万円必要」と発表し物議をかもしました。</p> <p>日本の年金制度は、現在支給されている高齢者の年金を、現役世代の納めている保険料で賄うという賦課制度を採用しています。しかし今、年金受給者とそれを支える現役世代のバランスが崩れてきています。現在、政府が行っている制度・これから行おうとしている制度の矛盾・問題点について皆さんと一緒に考えましょう。</p> <p>◇講演 本田宏さん（医師・NPO法人医療制度研究会副理事長） ◇意見交流</p>
<p>第2分科会 『環境問題』 ～企画運営団体～ ・いわて生協 ・岩手大学生協 ・盛岡大学生協 ・県立大学生協</p> <p>会場 7階 701会議室(定員36名)</p>	<p>「家庭から考えるプラスチックゴミ」</p> <p>ペットボトルや包装容器、家庭用品からレジ袋など日常生活で多く利用されている「プラスチック」。家庭から毎日のようにゴミとして排出されますが、どのように処理がされているのでしょうか。また、海洋汚染も深刻です。自治体ごとにルールも異なりますが、家庭から排出されるゴミの問題について、皆さんで交流しながら考えましょう。</p> <p>◇話題提供・ミニ講演 木村廣子さん（岩手県地球温暖化防止活動推進員） ◇意見交流</p>
<p>第3分科会 『消費者問題』 ～企画運営団体～ ・消費者信用生協 ・岩手県労働者福祉協議会</p> <p>会場 7階 702会議室(定員36名)</p>	<p>「ギャンブルへの依存の傾向とその対策について」</p> <p>ギャンブル依存症対策法が平成30年10月5日に施行されました。私たちのくらしの中にはギャンブルをはじめとする様々な「依存」の問題があります。今、「依存」について早めに気づき対策を講じることが求められています。「語り合い空間」の活動を通してギャンブル依存の傾向の現状と課題について学び、「依存」の問題についての対処方法を共に考える機会を持ちましょう。</p> <p>◇ミニ講演 福島久美子（消費者信用生活協同組合「話し合い空間」担当カウンセラー） ◇意見交流</p>
<p>第4分科会 『食の問題』 ～企画運営団体～ ・岩手県生協連 ・いわて生協</p> <p>会場 7階 703会議室(定員36名)</p>	<p>「ゲノム編集食品ってなあに？」</p> <p>野菜や家畜などの遺伝情報をピンポイントで変えるゲノム編集技術によって、「肉厚のマガイ」や、「栄養価を高めたトマト」などが開発・流通されようとしています。従来の品種改良とどこが違うの？遺伝子組み換え食品とは別物なの？どんなメリット・デメリットがあるの？など疑問だらけ。それなのに、安全性の審査も、表示もされないまま私たちの食卓に上ろうとしています。食や環境への影響など、消費者目線で考えてみましょう。</p> <p>◇話題提供 吉田敏恵（岩手県生活協同組合連合会専務理事） ◇意見交流</p>
<p>第5分科会 『子どもの居場所づくり』 ～企画運営団体～ ・JA岩手県女性組織協議会 ・岩手県労済生協 ・岩手県母と女性教職員の会</p> <p>会場 8階 810会議室(定員36名)</p>	<p>「岩手の子ども食堂の取り組みから地域の未来を考えよう」</p> <p>子ども食堂の取り組みは、子どもの貧困解決・子育て支援の側面だけではなく、子どもたちの実態は、社会の課題を体現しているとも言われ、孤立・貧困・社会保障問題など数えられないほどたくさんあります。岩手の子ども食堂のとりくみから、誰も孤立することなく子どもたちと全ての人たちが、生きやすい地域社会の実現をめざすため、新しいしくみをみなさんと一緒にアイデアを出し合い考えてみましょう。</p> <p>◇話題提供 山屋理恵さん（NPO法人インクルいわて理事長） ◇意見交流</p>
<p>第6分科会 『平和・憲法問題』 ～企画運営団体～ ・新日本婦人の会岩手県本部 ・岩手県母親大会連絡会 ・岩手県退職女性教職員の会</p> <p>会場 8階 811会議室(定員36名)</p>	<p>「憲法と私たち～平和な未来を子どもたちに渡そう!～」</p> <p>私たちのくらしに一番身近な憲法。憲法があるからこそ、私たちのくらしは守られてきました。でも、憲法を身近に感じていない人が多くいることも事実です。そこで、「憲法ってこんなに身近に私たちのくらしに直結しているよ！だからこそ、憲法は変えちゃだめ！」という気持ちを誰にでも伝えることができるように、「憲法ってよく分からない」という人はこの機会に、「知りつくしているよ」という人はもう一度復習する気持ちで話を聞いてみませんか？憲法大好きな輪をもっと広げていきましょう！</p> <p>◇トークライブ 渡部容子さん（弁護士） ◇意見交流</p>